

立川市産業振興計画

概要版

令和8(2026)年度～令和11(2029)年度

2026-2029



Tachikawa City Industrial Promotion Plan



令和8(2026)年
立川市

立川市の産業を取り巻く環境

「立川市産業振興計画」の前提となる、立川市の産業を取り巻く環境について、特徴をご紹介します。

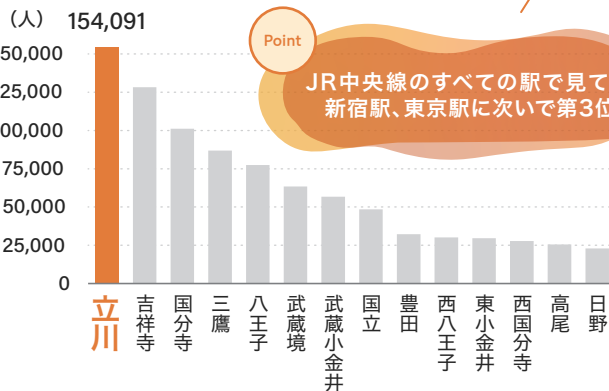
立地特性

多摩地域の交通の要衝

JR中央線・南武線・青梅線、西武拝島線の4路線の鉄道と多摩モノレールが通っています。



JR中央線1日平均乗車人員 (多摩26市内の駅)



Point
JR中央線のすべての駅で見ても、新宿駅、東京駅に次いで第3位!

出典: 東日本旅客鉄道株式会社「各駅の乗車人員2024年度」

昼間人口が夜間人口を上回る

昼間人口は夜間人口を上回って推移しており、昼夜間人口比率^{*}は、多摩26市中第1位となっています。

多摩26市における 昼夜間人口比率ランキング



出典: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

Point
昼夜間人口比率が100を上回るのは、多摩26市で立川市と武蔵野市だけ!

※昼夜間人口比率とは
夜間人口(常住人口)100人に対する、昼間人口の比率のこと。

公的支援機関が多数集積

産業支援や就労支援を行う国や都の支援機関が多数、集積しています。

TOKYO創業
ステーション
TAMA



Planning Port



Startup Hub Tokyo



東京しごとセンター多摩

立川駅南口
東京都・立川市
合同施設

周辺に立地する 国や都の公的支援機関

産業支援関連

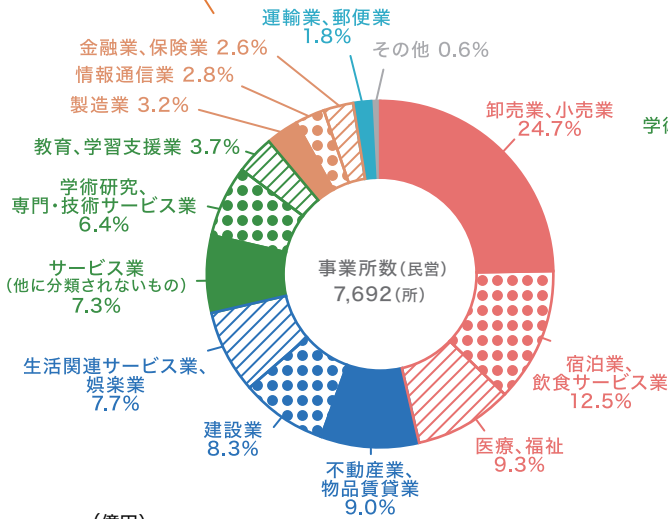
- 東京都よろず支援拠点立川事務所
- 東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター
- 東京都中小企業活性化協議会立川サテライト
- TOKYO創業ステーションTAMA
- 東京都産業サポートスクエア・TAMA(隣接する昭島市)

就労支援関連

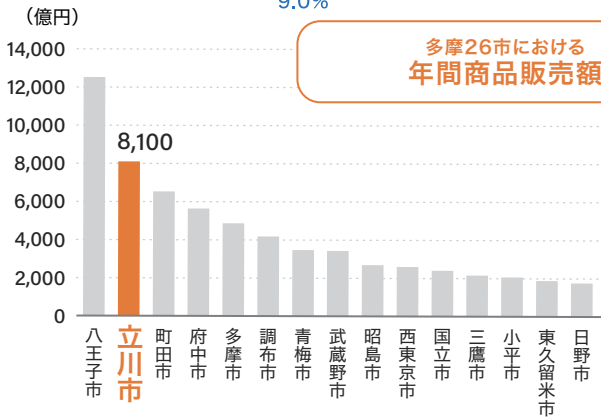
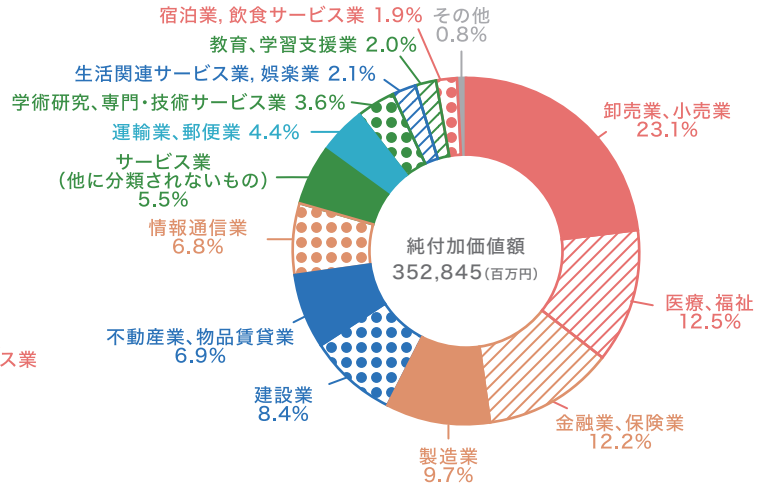
- ハローワーク立川 / ワークプラザ立川南 / マザーズハローワーク立川
- 産業雇用安定センターキャリア人材バンク東京・立川
- 東京しごとセンター多摩
- 東京都労働相談情報センター多摩事務所

卸売業・小売業がけん引する商業都市

業種別民営事業所数比率



業種別純付加価値額(企業単位)



Point
小売業と卸売業をあわせた年間商品販売額が多摩26市で第2位!

出典:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

多摩地域でトップの開業率

多摩26市における開業率 ランキング(平成28年~令和3年)

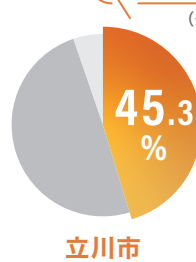
(会社以外の法人及びその他の団体を除く)

順位	市町村	開業率
1位	立川市	6.77
2位	武蔵野市	6.52
3位	町田市	6.34
4位	多摩市	6.11

出典:総務省・経済産業省「平成28年・令和3年経済センサス-活動調査」

支所・支社・支店が多く立地

全事業所(民営)における支所・支社・支店の事業所数割合



Point
民営事業所のうち、支所・支社・支店が全体の45%以上を占めます

出典:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

経営基盤の安定化が求められている

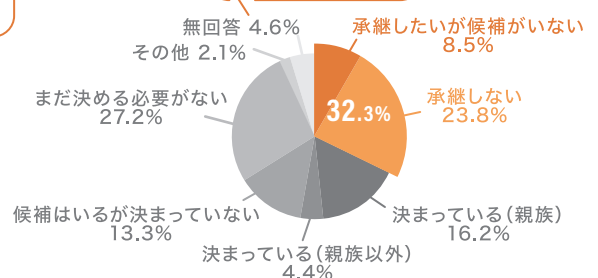
事業所を取り巻く環境課題(外的要因) 上位5位 最もあてはまるもの5つまで選択

仕入れ価格の高騰・不足	49.9%
物価高騰	48.0%
人件費の高騰	34.0%
顧客の減少	28.0%
顧客の高齢化	22.8%

事業所の事業課題(内的要因) 上位5位 最もあてはまるもの5つまで選択

人材の育成	38.9%
販売力の強化・販路開拓	38.3%
人材の確保	33.3%
商品・サービスの魅力向上	31.1%
業務の効率化	27.1%

後継者の状況



出典:立川市「立川市産業振興計画策定に関するアンケート調査報告書」(令和6年度)

計画の目標(市の目指す姿)

本計画の上位計画である「立川市第5次長期総合計画前期基本計画(計画期間 令和7(2025)年度～令和11(2029)年度)」において、施策「活力ある産業の振興」の目的を、下記の通り掲げました。本計画は、この目的の達成を目指し、産業振興の方向性を示すものです。

多様な産業の集積を生かし、
地域経済の活性化やイノベーション創出を推進し、
一層の産業発展を支えます

立川市産業振興計画の施策体系

課題

課題1 稼ぐ力の向上と新たな活力の創出

- イノベーションを生み出す取組への支援
- 新たな販路や市場開拓
- 大学・研究機関と事業者をつなぐ場やしくみづくり
- 創業後の事業継続や成長を支援するための伴走支援体制



課題2 ビジネス環境の維持・発展とまちの魅力の向上

- JR立川駅周辺地域における商業系用途の集積を維持していく施策の検討
- ものづくり事業者が安心して事業を継続できる良好な事業環境の維持・向上
- 情報通信業をはじめとした今後成長が期待される産業の立地・集積
- 時代の変化に対応した新たなまちの魅力の創出や、来訪者を惹きつける戦略



課題3 経営基盤の安定化

- 財政面への支援や伴走支援等の多角的アプローチによる経営基盤の下支え
- 業務効率化や生産性向上の推進
- 早期からの事業承継準備など、円滑な事業承継(M&Aを含む多様な承継)
- 人材に関する施策の強化



計画期間

本計画の計画期間は、上位計画である「立川市第5次長期総合計画前期基本計画」の計画終期にあわせ、令和8(2026)年度から令和11(2029)年度の4年間とします。

計画の成果指標

計画目標の達成状況を測る成果指標として、以下を定めます。

法人市民税の
納税義務者数

現状値(令和6(2024年度))

7,370者

目標値(令和11(2029)年度)

7,640者

基本方針

施策

重点手法

基本方針

1

イノベーションの創出と
魅力ある創業環境づくり

施策
1

イノベーションの推進

施策
2

創業支援の強化

基本方針

2

事業者や来訪者が集い、
活力を生み出す場づくり

施策
3

産業集積の維持・発展

施策
4

商業の活性化

基本方針

3

持続的発展に向けた
経営基盤づくり

施策
5

経営力強化の推進

施策
6

多様な人が活躍できる
環境づくり

多様な主体との連携・共創

情報発信の強化

イノベーションの創出と魅力ある創業環境づくり

イノベーションの推進

事業の高付加価値化や製品・商品・サービスの競争力強化に向けた取組を推進します。

取組内容

- 1-1 新事業創出の推進
- 1-2 業務効率化や生産性向上につながるDX・GXの推進
- 1-3 新たな販路や市場開拓の支援
- 1-4 大学・研究機関と事業者との連携の推進

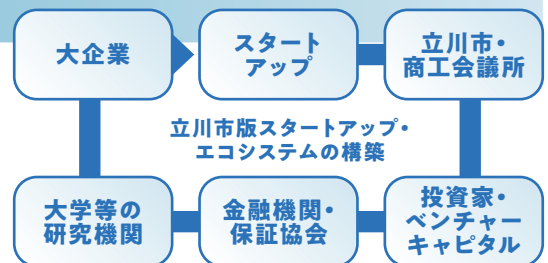


創業支援の強化

スタートアップをはじめとする起業家精神があふれる人の挑戦を支援します。

取組内容

- 2-1 創業環境の充実
- 2-2 交流・連携を生み出すしくみづくり
- 2-3 未来の創業の芽を育む環境づくり



産学官の様々なプレイヤーが集積、連携することで共存・共栄し、先端産業の育成や経済成長の好循環を生み出すビジネス環境。

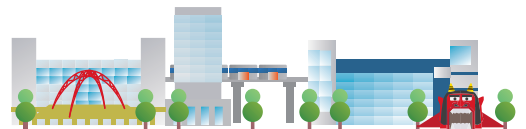
事業者や来訪者が集い、活力を生み出す場づくり

産業集積の維持・発展

事業者にとって、本市がより魅力あるビジネスエリアになるよう、ビジネス環境の維持と更なる発展を目指します。

取組内容

- 3-1 立川駅周辺の持続的発展の推進
- 3-2 ものづくり事業者の事業環境の維持・向上
- 3-3 成長産業の立地・集積の促進



商業の活性化

魅力があふれ続けるまちであることを目指し、持続可能な商業の活性化を推進します。

取組内容

- 4-1 地域を活性化させ、まちなぎわいを生む商店街振興
- 4-2 魅力ある個店づくりの推進



持続的発展に向けた経営基盤づくり

経営力強化の推進

不確実性が高まる事業環境への対応力を高めるため、経営基盤の強化や安定化を支援します。

取組内容

- 5-1 経営基盤の強化支援
- 5-2 業務効率化や生産性向上につながるDX・GXの推進 ※再掲
- 5-3 次世代につなぐ事業承継の促進



多様な人が活躍できる環境づくり

誰もがいきいきと活躍できる環境の整備・向上を推進します。

取組内容

- 6-1 多様な働き方、活躍ができる環境づくり
- 6-2 スキルアップ・リカレント教育支援
- 6-3 市内産業を担う次世代人材の発掘・育成

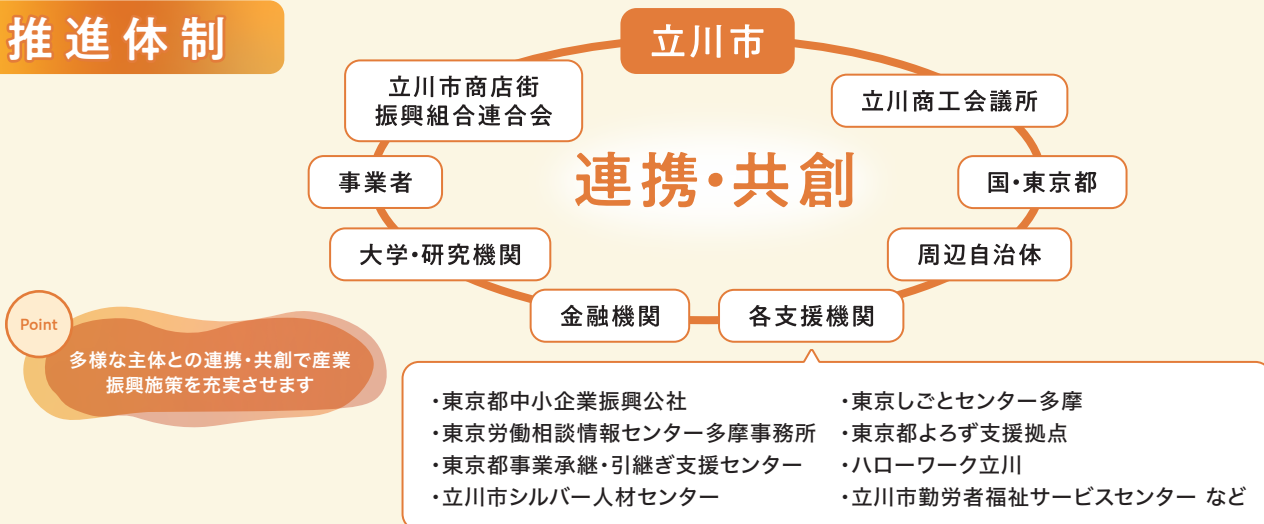


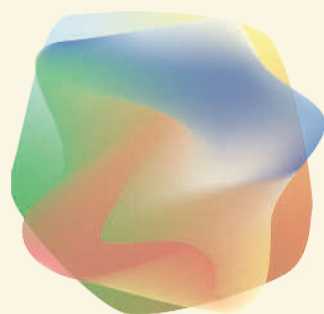
重点手法

3つの基本方針を実行していくために、すべての施策において以下の2つの手法を重視していきます。

- ① 多様な主体との連携・共創
多様な主体と連携・共創を図り、産業振興施策の充実に取り組みます。
- ② 情報発信の強化
各支援機関とも連携しながら情報発信の強化に取り組み、施策の認知度を高めていきます。

推進体制





立川市産業振興計画（概要版）

令和8（2026）年3月発行

発行 立川市
〒190-8666
東京都立川市泉町 1156番地の9
電話 042-523-2111(代表)
FAX 042-527-8074
ホームページ <https://www.city.tachikawa.lg.jp/>
編集 産業まちづくり部 産業観光課